

平成23年度 多久市の当初予算

3月議会で平成23年度の当初予算が可決され、一般会計の予算総額は104億5千万円となりました。厳しい財政状況ですが「歳入に見合う歳出」を基本とした健全な財政運営を行い、みなさんが安心して暮らせる環境づくりに努めます。

歳入

歳入には自主財源（市が自主的に収入することができる）と依存財源（国や県から交付されるお金や借入金）があり、今年度予算で占める自主財源の割合は26.1%となっています。

歳入の基本である市税では、17億531万8千円と、前年度に比べ8千753万7千円（4.9%）の減額を見込んでいます。

一方で依存財源で高い割合を占める地方交付税は1億円（6.2%）、国庫支出金は2億8千858万1千円（26.0%）、県支出金で8千355万3千円（11.3%）のそれぞれ増額を見込んでいます。

市税の内訳

（単位：千円）

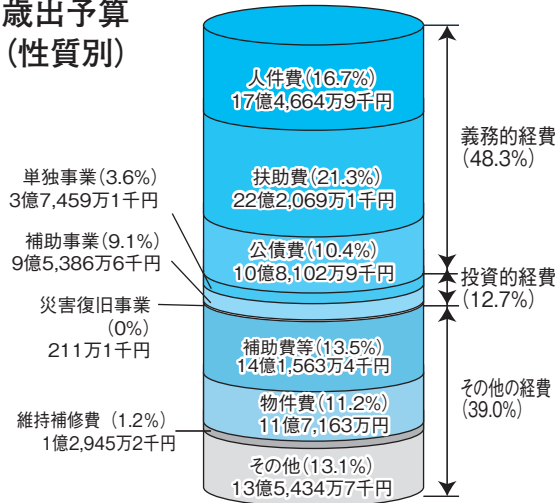
税目名	予算額	前年対比
市民税	649,522	-7.0%
個人分	565,703	-7.8%
法人分	83,819	-1.8%
固定資産税	912,980	-0.8%
土地	275,910	-1.3%
家屋	473,898	+1.5%
償却資産	147,279	-2.9%
交付金	5,165	-1.6%
その他	10,728	-36.1%
軽自動車税	57,267	+0.5%
市たばこ税	85,547	-26.7%
入湯税	2	±0%
合計	1,705,318	-4.9%

歳出

義務的経費（支出が義務づけられ任意に節減できない）のうち、前年度に比べて共済組合負担金の増により人件費は約3千674万9千円（2.1%）、扶助費は約6千835万1千円（3.2%）の増額となっていますが、公債費は8千218万3千円（7.1%）の減額となっていて、歳出全体の48.3%（前年度は51.8%）を占めています。

投資的経費（社会資本整備など支出の効果が長期にわたる）では、前年度に比べて5億7千138万9千円（75.3%）の増額となりました。

歳出予算（性質別）



平成23年度 会計別予算

病院事業会計

区分	予算額	前年対比
収益的収入	15億3,306万3千円	+1.48%
収益的支出	15億3,306万3千円	+1.48%
資本的収入	1億2,370万円	+362.5%
資本的支出	1億5,109万4千円	+266.5%

水道事業会計

区分	予算額	前年対比
収益的収入	5億9,076万円	-0.23%
収益的支出	5億9,076万円	-0.23%
資本的収入	1億1,449万2千円	+76.9%
資本的支出	2億5,110万3千円	+26.0%

会計別	予算額	前年対比
一般会計	104億5,000万円	+7.6%
特別会計		
国民健康保険事業	27億1,346万2千円	+1.6%
後期高齢者医療	2億3,528万6千円	-4.4%
土地区画整理事業	7億6,539万7千円	+2.2%
公共下水道事業	4億2,187万2千円	+14.7%
農業集落排水事業	1億1,141万1千円	+37.1%

※一般会計は市が行う行政運営の基本的な会計です。

※特別会計は特定の事業を行う場合や特定の歳入を特定の歳出に充てる場合など、一般会計と区別して経理する会計のことです。

※病院や水道など公営企業の経理は、経営活動を示す収益的収支と資産の取得を示す資本的収支に区分されます。

「収益的収支」は公営企業の一事業年度の経営活動に伴い発生したすべての収入とすべての支出です。

「資本的収支」は公営企業の将来の経営活動のために行う設備投資とこれに係る企業債償還金などの支出、その財源となる収入です。